

# 埼玉県立神川げんきプラザ指定管理者候補者の選定結果について

埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課

令和2年7月から募集を開始した埼玉県立神川げんきプラザの指定管理者については、埼玉県議会12月定例会の議決を経て指定しました。

つきましては、指定管理者候補者の選定に当たっての経緯等について公表いたします。

## 1 神川げんきプラザ指定管理者について

指定管理者：神川フィールドパートナーズ

代表者：株式会社東急コミュニティー

東京都世田谷区用賀4丁目10番1号

代表取締役 雑賀 克英

構成員：特定非営利活動法人国際自然大学校（東京都狛江市）

## 2 指定の期間について

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）

## 3 応募の状況について

### （1）現地説明会への参加団体数

- ・令和2年7月21日実施 4団体

### （2）応募申請団体数

- ・令和2年9月8日締め切り 1団体

- ・申請団体の内訳

ビル・マンション管理会社とNPO法人のグループ 1団体

## 4 指定管理者候補者の選定について

### （1）選定基準

#### ア 審査基準

- ・ 県民の平等な利用を確保することができる
- ・ 関係法令を遵守し、適正な運営ができる
- ・ 設置目的を効果的に達成し、効率的な運営ができる
- ・ 指定管理業務を安定して行う経営基盤を有している
- ・ 個人情報の適正な取扱いが確保できる

#### イ 審査項目

- ・ 公の施設としての役割を適切に担うことができるか
- ・ 利用者本位の柔軟なサービスが提供できるか

- ・ 県民の平等利用確保への配慮がされているか
- ・ 効果的かつ効率的な管理を実施できるか
- ・ 法人等の経営基盤が安定しているか
- ・ 効果的な自主事業を実施できるか
- ・ 自主事業について、特筆すべき優れた点があるか
- ・ 指定管理業務に係る県の委託料は適切な額か
- ・ 委託料について、特筆すべき優れた点があるか
- ・ その他、特筆すべき優れた点があるか

## (2) 選定委員会の委員

氏名	職業等
小西 康雄	加須げんきプラザ 所長
牛山 佳久	ボーイスカウト埼玉県連盟 理事長
新井 英男	深谷市立深谷小学校 校長
青山 鉄兵	文教大学 准教授 (埼玉県生涯学習審議会委員)
小笠原薫子	公認会計士
古垣 玲	教育局市町村支援部副部長

## (3) 第1次審査について

審査基準に基づき、資格・書類審査を実施しました。

- 審査結果

応募団体を第2次審査対象団体としました。

## (4) 第2次審査について

プレゼンテーション及び選定委員のヒアリング等による審査を実施しました。

- 審査結果

審査項目 (配点)		神川フィールドパートナーズ
公の施設の適切な運営	150点	124点
柔軟なサービスの提供	120点	97点
平等利用の確保	60点	45点
効果的・効率的な管理・運営	150点	115点
安定した経営基盤	90点	76点
効果的な自主事業	210点	170点
自主事業についての加点	30点	21点
適切な委託料の算出	150点	118点
委託料についての加点	30点	19点
その他、特筆すべき優れた点への加点	30点	19点
合計点	1,020点	804点

- 神川フィールドパートナーズの選定理由
  - ア げんきプラザの設置目的や県の施策を十分に理解しており、アクティブシニアの活躍や多文化共生などの現代的課題を踏まえた自主事業を計画している。
  - イ これまでの体制から、事業担当の職員を増員することで、組織体制の充実を予定している。
  - ウ 自然体験活動の専門家による学習支援や、様々な事故に合わせた対応マニュアルの整備などの提案がなされており、快適で安心な施設運営が期待できる。
  - エ 安定した経営基盤を有している。

○ (参考) 選定委員の主な意見

団体名	意見
神川フィールドパートナーズに対する主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の施策をきちんと踏まえており、テーマ別の自主事業の展開など、社会教育施設に相応しい安定した運営が期待できる。</li> <li>・ 活動の内容によっては、専門的な知識が必要であるなどの理由で、利用団体の指導者のみでは対応できないことがあるため、げんきプラザの主催する事業にはこういったものを期待したい。</li> </ul>

## 5 神川フィールドパートナーズの提案の概要

### (1) 基本方針

- ① 地域連携を強化し、青少年の健全育成及び生涯学習活動の振興に寄与
- ② 利用者の声を大切にし、職員研修により満足度・利便性を向上
- ③ リスク管理を徹底し、安心・安全・快適な施設を追求

### (2) 自主事業計画

- ・ 「家庭や地域の教育力を生かした学習支援」「アクティブシニアの活躍や高齢者の支援」などの6つのテーマに基づく約20種類の事業を提案

例 家庭や地域の教育力を生かした学習支援

キッズキャンプ (アウトドアクッキング、秘密基地づくり、10 kmチャレンジハイクなど)

ネイチャーキッズ (ロープワーク、地図読み、20 kmチャレンジハイクなど)

例 アクティブシニアの活躍や高齢者の支援

温泉トレッキング

ターゲットバードゴルフ大会

### (3) 利用者ニーズの把握及び実現策、接遇向上策

- ・ アンケートを活用した利用者ニーズの把握
- ・ 全体会議やセクション会議などを通じた情報共有の徹底
- ・ 接遇やマナーに関する研修の実施とホスピタリティあふれる施設作り

#### **(4) 施設設備の維持管理**

- ・ 計画的な維持管理により安心・安全・快適な利用環境の維持
- ・ 点検等で把握した設備の劣化状況の分析と修繕の優先順位の検討
- ・ 使用後物品の作動確認の実施と故障物品の迅速な補修の実施

#### **(5) 管理執行体制**

- ・ 現行の管理執行体制から事業担当職員1名の増員
- ・ 配置職員数：常勤職員7名、非常勤2名（現在：常勤職員6名、非常勤2名）
- ・ 専門職員配置：NEALインストラクター、CONEリスクマネージャー等有資格者の配置
- ・ 研修計画：スタッフ全員に対する職員研修や業務別研修の実施と事業担当スタッフに対する外部団体主催研修への積極的な参加
- ・ 業務委託：食堂、建物設備管理及び清掃業務等は委託を予定

#### **(6) 収支予算案（令和3年度及び5年間の収支計画）**

- ・ 令和3年度指定管理委託料について、令和2年度比0.6%増加

#### **(7) 利用料金に関する考え方**

- ・ 食事代、シーツ代等は現行料金と概ね同様

#### **(8) 個人情報の取扱い**

- ・ 法令を遵守した管理体制の構築と継続
- ・ 個人情報に関する研修の実施と職員への個人情報保護の重要性の意識づけ

#### **(9) 危機管理体制**

- ・ 事故防止、緊急時対応の2つの観点から捉えた安全管理の徹底
- ・ 災害や急病人等の避けられない事態に備え、万全の対策を構築
- ・ 様々な状況に合わせたマニュアルの整備